

令和2年度予算案の主な事業

| (●は新規事業を含む) | | ページ |
|-----------------------------|-----------------------------|-----|
| I 子育て・教育・福祉 | | |
| ● | 1 多胎児家庭支援／産前産後支援ヘルパー | 1 |
| | 2 子育て短期支援／養育支援ヘルパー | 2 |
| | 3 放課後子供教室運営 | 3 |
| | 4 小・中学校ICT教育の推進 | 4 |
| | 5 国際理解重点教育 | 5 |
| ● | 6 (仮称) 竜泉二丁目福祉施設整備 | 6 |
| | 7 障害者施設整備助成 | 7 |
| II まちづくり | | |
| | 8 上野地区まちづくり推進 | 8 |
| | 9 東上野四・五丁目地区まちづくり推進 | 9 |
| | 10 北部地区まちづくり推進 | 10 |
| | 11 谷中地区まちづくり推進 | 11 |
| ● | 12 浅草地区まちづくり検討 | 12 |
| ● | 13 鶯谷駅周辺まちづくり検討 | 13 |
| III 災害対策・環境・施設の老朽化対策 | | |
| | 14 災害対策に係る充実 | 14 |
| | 15 喫煙等マナー向上の推進／公衆喫煙所の整備 | 15 |
| | 16 浅草公会堂大規模改修 | 16 |
| IV 産業 | | |
| | 17 海外プロモーション推進 | 17 |
| ● | 18 (仮称) 江戸たいとうショップ | 18 |
| V 文化・観光 | | |
| ● | 19 江戸をたずねる | 19 |
| | 20 墨田区との連携推進 | 20 |
| ● | 21 (仮称) 2020台東区コレクション展 | 21 |
| VI 東京2020大会 | | |
| ● | 22 聖火リレー | 22 |
| ● | 23 コミュニティライブサイト | 23 |
| | 24 東京オリンピック・パラリンピック大会推進 | 24 |
| ● | 25 「生誕」像の設置 | 25 |
| | 26 アスリートから学ぶLet's Enjoyスポーツ | 26 |
| | 27 おもてなしの人づくり | 27 |
| | 28 浅草文化観光センター運営 | 28 |
| | 29 花の心プロジェクト | 29 |
| | 30 障害者スポーツ普及促進 | 30 |
| ● | 31 障害者アーツ | 31 |

●1 多胎児家庭支援／産前産後支援ヘルパー

予算額 644万円

背景

多胎児を養育する家庭では、同じ発達段階の子供を同時に育てることなど、多胎児ならではの出産・育児の困難さに直面している。

目的

多胎児家庭は身体的・精神的負担が大きいため、育児の負担を軽減するとともに、社会とのつながりを持つことにより孤立を防ぐ。

事業概要

①情報提供

多胎児の出産・育児について、妊娠の段階からイメージが持てるよう「(仮称)多胎児家庭サポートパンフレット(台東区版)」を作成する。

②研修会の実施

区及び関係機関の職員に向けた研修会を実施し、多胎児家庭の実態を理解するほか、専門的な知識を習得することで、多胎児家庭に対する適切な支援につなげていく。

③産前産後支援ヘルパーの業務内容の充実

多胎児家庭については、「健康診査」への付添いに加え、「公的機関での手続き」や「交流の場への参加」にも付添いができるよう業務内容を充実し、多胎児家庭の外出をサポートする。

問い合わせ ①・② 子育て・若者支援課 電話：5246-1231

③ 保健サービス課 電話：3847-9441

2 子育て短期支援／養育支援ヘルパー

予算額 3,345万円

背景

多様な保育ニーズに対応するため、これまで児童や乳幼児を対象にしたショートステイ事業及びトワイライトステイ事業を実施してきた。

目的

養育を支援することが特に必要な家庭の児童を対象としたショートステイ事業の実施により、児童虐待の未然防止を図り、児童の健やかな成長を支援し、保護者が地域で安心して育児に取り組むことができる環境を整備する。

事業概要

- 支援内容 保護者の同意のもと、実施施設において児童を養育し、生活指導、発達及び行動の観察、保護者の支援等を行う。
- 対象 保護者の強い育児疲れ、不適切な養育状態にあるなど、養育を支援することが特に必要な家庭の児童。（2歳以上の就学前児童）
- 定員 1日1名
(利用上限13泊14日 年間予定利用者数5名)
- 登園支援 入所中の児童の登園支援については、「養育支援ヘルパー」を活用する。
- 実施施設 日本堤子ども家庭支援センター谷中分室

スケジュール

令和2年1月～5月 改修工事
令和2年6月 事業開始

問い合わせ 子ども家庭支援センター 電話：5824-2537

3 放課後子供教室運営

予算額 2億928万円

背景

児童の保護者に対し、仕事と子育ての両立を支援するとともに、次代を担う子供たちの健全な育成ができるよう、全ての児童にとって安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、平成29年12月に「台東区放課後対策の方針」を策定した。

目的

児童の放課後における安全・安心な居場所づくりと健やかな成長を支援する。

事業概要・**スケジュール**

放課後子供教室事業は、全ての児童を対象に安全・安心な居場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動を提供することにより、社会性・自主性・創造性等を育む事業である。これまで千束小学校、石浜小学校、大正小学校、忍岡小学校、蔵前小学校の5校で実施している。

令和2年4月から、新たに小学校4校で実施する。

- 上野小学校放課後子供教室
 - 所在地 東上野六丁目16番8号

- 谷中小学校放課後子供教室
 - 所在地 谷中二丁目9番16号

- 浅草小学校放課後子供教室
 - 所在地 花川戸一丁目14番15号

- 金竜小学校放課後子供教室
 - 所在地 千束一丁目9番9号

問い合わせ 放課後対策担当 電話：5246-1440

4 小・中学校 I C T 教育の推進

予算額 7億9,148万円

背景

平成29年3月に学習指導要領が改訂され、小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から新学習指導要領が全面実施される。

新学習指導要領においては、情報活用能力の育成を図るため、I C T機器を活用した学習活動を充実させることが求められている。

そのため台東区では、平成30年度から小学校2校・中学校1校をモデル校として選定し、タブレット型パソコン等を活用した授業を行うことで、学習活動における効果や課題を検証してきた。

目的

情報活用能力の育成を図るため、小中学校のI C T環境を整備し、タブレットパソコン等を活用した授業を実施する。

事業概要・**スケジュール**

小中学校において、校内に無線L A N環境を構築するとともに、3学級に1学級分のタブレット型パソコンを整備し、I C T機器を活用した授業を展開する。

●事業内容

- 3学級に1学級分のタブレット型パソコンを整備
 - ・児童、生徒用 約3,800台
 - ・教員用 約700台
- 全普通教室、特別教室に電子黒板を整備
- 全普通教室、特別教室、体育館等に無線L A N環境を整備
- 授業で使用する学習系ネットワークを構築
- I C T支援員を配置

問い合わせ 教育改革担当 電話：5246-1455

5 国際理解重点教育

予算額 1, 838万円

背景

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、訪日外国人旅行者の増加を背景とした国際化の機運が高まっていることから、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に向けて、児童・生徒の英語力向上や国際社会に積極的に関わる姿勢を醸成する取組みに、これまで以上に力を入れていく必要がある。

一方で、学校の授業以外では、英語を用いて外国人とコミュニケーションをとる機会は多くないことが課題となっている。

目的

益々進展する国際化社会を生きている子供たちが、世界で活躍したいという強いこころざしを持てるよう、体験型プログラムを通じ英語活用の意識を高め、グローバル人材を育成する。

事業概要・スケジュール

区立小学校において、体験型英語学習施設での校外学習(TGGでミニ留学)を実施するとともに、区立中学校の希望生徒を対象に英語体験学習プログラム(English Summer School)を実施する。

● TGGでミニ留学

- 日程 学期中の各学校が選択した半日間
- 会場 Tokyo Global Gateway
※東京都教育委員会が開設した体験型英語学習施設
- 対象 小学6年生 全児童
- 内容 航空機利用やレストラン、病院など日常生活を想定した数々のプログラムから2つのプログラムを選択し、外国生活を疑似体験

● English Summer School

- 日程 夏季休業期間の連続した2日間
- 会場 各中学校
- 対象 中学2年生の希望生徒 各校約30人
- 内容 生徒5～6人に対し外国語指導助手1人を配置し、外国人と関わる様々な場面を設定して、英語のみでコミュニケーション

問い合わせ 指導課 電話：5246-1450

●6 (仮称) 竜泉二丁目福祉施設整備

| | |
|-----------|--------------------|
| 予算額 | 95万円 |
| 債務負担行為限度額 | 6億4,039万円(令和2～4年度) |

背景

台東区は他自治体に先駆けて区立特別養護老人ホームを整備したため、施設の更新時期を迎えている。

更に、入所者の要介護度の重度化や身体状況の変化に伴い、居住環境への対応が必要である。

また、後期高齢者人口の増加により、要介護認定者や認知症高齢者の増加が見込まれている。

目的

区立特別養護老人ホーム三ノ輪・蔵前・千束の再編成を行い、区内特別養護老人ホーム入所定員数の充実及び居住環境の向上を図る。

また、介護予防や認知症高齢者への支援など、高齢者福祉施策の充実を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築する。

事業概要

旧竜泉中学校(竜泉二丁目10番6号)の跡地に、区立特別養護老人ホームや高齢者福祉施策の充実を図る施設を整備するとともに、こどもクラブや地域活動に利用できるスペース等を整備する。

令和2年度は施設整備に向けた基本設計や、旧校舎等解体工事に向けた準備を行う。

スケジュール

| | |
|-----------|------------|
| 令和元年度 | 整備計画策定 |
| 令和2年度～3年度 | 運営事業者選定 |
| 令和2年度～4年度 | 設計、校舎等解体工事 |
| 令和4年度～6年度 | 建設工事 |
| 令和6年度 | 開設 |

問い合わせ 高齢福祉課 電話：5246-1040

7 障害者施設整備助成

予算額 5,516万円

背景

●身体障害者グループホーム

台東区障害福祉計画では、令和2年度末までに1箇所整備することを目標としている。

●生活介護施設（デイサービス）

重度身体障害者に対応する区内事業所が定員に達している。

●障害児通所支援施設

発達障害等の未就学児を対象とする児童発達支援事業所のニーズが高まっている。また、医療的ケアを必要とする児童に対応する障害児通所支援施設が区内において未整備である。

目的

重度の障害がある方でも、住み慣れた地域で安心して生活を営んでいけるよう、区内において障害者施設を整備・運営する民間事業者等を公募し、支援する。

事業概要

現行の障害者施設整備助成制度について、対象施設の拡大や助成額の増額など、内容の充実を図る。

| 区分 | 対象施設 | 助成上限額 |
|-----|--------------------------------|-----------------------|
| 現行 | グループホーム・生活介護施設・就労継続支援B型事業所 | 500万円 |
| 充実分 | 重度身体障害者を一定数受け入れるグループホーム・生活介護施設 | 2,000万円 |
| | 児童発達支援事業所 | 2,000万円 改修の場合500万円 |
| | 医療的ケア児を一定数受け入れる放課後等デイサービス事業所 | 2,000万円 改修の場合500万円 |

問い合わせ 障害福祉課 電話：5246-1211

8 上野地区まちづくり推進

予算額 2,800万円

背景

上野は、世界に誇る資産や多様で歴史ある魅力が集積していることなどから、日本の文化芸術立国を牽引し、国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点を形成することが期待されている。

目的

2040年代頃の上野の将来像と取組みの方向性を示す「上野地区まちづくりビジョン」（令和元年度末策定予定）に基づき、多様な主体による計画的かつ一体的なまちづくりを推進する。

事業概要

「上野地区まちづくりビジョン」の実現に向け、関係機関や事業者、まちづくり組織など多様な主体との継続的な協議・調整やまちづくり誘導方策の検討等、長期的な取組みを推進していく。

●まちづくり推進会議等の立ち上げ

まちづくり推進のための協議・調整や進捗管理等を行う。

●実施に向けた協議・調整とまちづくり誘導方策の検討

まちづくり事業の実施に向けた協議・調整やまちづくり誘導方策の検討等を継続的に実施する。

問い合わせ 地域整備第一課 電話：5246-1371

9 東上野四・五丁目地区まちづくり推進

予算額 3,531万円

背景

「東上野四・五丁目地区まちづくり方針・同ガイドライン」の実現に向けて、平成31年3月に「東上野四・五丁目地区地区計画」を策定した。

目的

都市計画等の諸制度により、適正な土地利用の誘導とともに、公共公益施設の再編や大規模敷地の有効・高度利用による段階的なまちづくりを推進する。

事業概要・**スケジュール**

旧下谷小学校跡地を活用した公共公益施設の再編を図るため、土地区画整理事業の実施に向けた調査設計等を行う。

また、広場等の公共空間の整備や大規模敷地における業務、商業、文化、観光等の多様な機能の誘導について、関係地権者と共有し、まちづくりの機運醸成を図る。

●令和2年度

- 土地区画整理事業に向けた調査設計、測量
- 関係地権者を対象とするまちづくり勉強会の開催

●令和3年度以降

- 土地区画整理事業実施

問い合わせ 地域整備第一課 電話：5246-1371

10 北部地区まちづくり推進

予算額 1,875万円

背景

台東区の北部地区は、平成31年3月に策定した「台東区都市計画マスタープラン」で、まちづくり施策を集中的に実施する「まちづくり推進重点地区」に位置付けている。

また、平成30年度に実施した「北部地域活性化検討調査」において、北部地区のまちづくりを推進するには、公有地や既存の民間施設を活用することが有効であるとの調査結果を得た。

目的

回遊性の向上等の課題を解決し、地区の活性化や魅力あるまちを実現するため、計画的なまちづくりを推進する。

事業概要・**スケジュール**

旧東京北部小包集中局跡地については、産業振興、賑わい・交流を主な視点とした活用に係る基本計画を策定する。

また、北部地区全体で既存の民間施設を活用するリノベーション型まちづくりを進めていく。

●旧東京北部小包集中局跡地活用

- 令和2年度 基本計画策定

●リノベーション型まちづくり

- 令和2年度 機運醸成を図るための講演会の実施
- 令和3年度以降 民間施設を活用し、魅力ある店舗開設等の事業化が図られるよう、不動産オーナーと事業に携わりたい方のマッチングを図る場を設定する。

問い合わせ 地域整備第二課 電話：5246-1376

11 谷中地区まちづくり推進

予算額 2,299万円

背景

平成29年3月に策定した「谷中地区まちづくり方針」に基づき、特徴的な景観をもつ街並みを保全しながら、地域の防災性及び交通面における安全性の向上を図り、魅力あるまちづくりを推進している。

目的

谷中地区の防災性向上を図りつつ、寺社と住宅等が調和した特徴的な街並みの維持・形成を促進することで、地域特性を活かしたまちづくりを推進していく。

事業概要

「谷中地区地区計画」を策定する。また、谷中地区景観形成ガイドラインを検討するとともに、景観形成に係る建築物等詳細調査を実施する。

問い合わせ 地域整備第三課 電話：5246-1375

●12 浅草地区まちづくり検討

予算額 2,268万円

背景

浅草地区のまちづくりについては、平成19年6月の「浅草地域まちづくり総合ビジョン」策定以降、東京スカイツリーの開業や、外国人観光客を含む観光客の増加等、取り巻く環境が大きく変化している。

また、平成31年3月策定の「台東区都市計画マスタープラン」において同地区は、まちづくり施策を集中的に実施する「まちづくり推進重点地区」に位置付け、国際観光地としての拠点性の強化等が求められている。

目的

新たな「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を策定し、浅草地区の目指すまちづくりの方向性及びその実現に向けた取組みを示す。

事業概要・**スケジュール**

現行ビジョンの対象地域を中心に、まちづくりにおける課題を抽出する。明らかになった課題を踏まえ、望ましい将来を実現するための新しい「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を策定する。

●令和2年度

■まちづくり基礎調査等の実施

土地利用や都市基盤、公共公益施設等、まちの現況に係る基礎調査を実施し、課題を抽出する。これをもとに、他地区との広域的な連携も踏まえて、まちづくりの方向性を検討する。

●令和3年度

■地域の方や学識経験者等からなる検討委員会の設置、ビジョン案の作成

●令和4年度以降

■新たな「浅草地域まちづくり総合ビジョン」の策定

問い合わせ 計画調整課 電話：5246-1240

●13 鶯谷駅周辺まちづくり検討

予算額 814万円

背景

平成31年3月策定の「台東区都市計画マスタープラン」において、鶯谷駅周辺地区を含む「根岸・入谷地区」は、まちづくり施策を集中的に実施する「まちづくり推進重点地区」に位置付けられ、防災性の向上や、都市基盤施設の整備等が求められている。

目的

防災性の向上や、都市基盤施設の整備等の課題に対応する目指すべき将来像を描き、まちづくりの方向性を示す。

事業概要・スケジュール

鶯谷駅周辺を中心に、まちの現況に係る基礎調査を実施し、課題を抽出する。明らかになった課題を踏まえ、魅力あるまちづくりを推進するための構想案を地域に提案・協議し、より具体化するための「まちづくりビジョン」を策定する。

●令和2年度

■まちづくり基礎調査等の実施

駅周辺の土地利用や都市基盤、公共公益施設等、まちの現況に係る基礎調査を実施し、課題を抽出する。これをもとに、隣接する上野公園等との回遊性向上に係る歩行者ネットワークや、空間整備の方向性を検討する。

●令和3年度

■地元意見交換会の開催、まちづくり構想案の検討

●令和4年度以降

■地元勉強会の開催、「まちづくりビジョン」の策定

問い合わせ 計画調整課 電話：5246-1240

14 災害対策に係る充実

予算額 4億665万円

背景

近年、日本各地で自然災害が頻発する中、令和元年においても台風19号等による大きな被害が発生している。国は、避難勧告等に関する「警戒レベル」の運用を開始し、自助・共助の取組みによる避難体制の強化を図っている。

目的

台東区では、引き続き自助・共助の取組みを進めるとともに、区民への正確な情報伝達や被災者への支援等の充実を図る。

事業概要

- 避難所運営
 - ①避難所等に、スマートフォン等の充電用蓄電池の配備（60セット）
 - ②防災士資格取得支援助成制度の創設（避難所運営委員会からの推薦者対象）
 - ③災害時の路上生活者向け支援（避難施設での受入れ、NPO法人等と連携） 等
- 区民への避難支援
 - ④避難行動要支援者の災害時個別支援計画の作成
 - ⑤コミュニティ防災の構築支援
 - ⑥固定系防災行政無線のデジタル化整備工事の実施（令和2年度で整備終了）
 - ⑦避難行動要支援者等にデジタル化対応の防災ラジオ貸与（2,900台）
- 情報提供
 - ⑧防災地図、水害ハザードマップ及び安全・安心ハンドブックの改定（全戸配布）
 - ⑨集合住宅防災ハンドブックの改定
- 体制の強化
 - ⑩地域防災計画の修正
 - ⑪高所から主に谷中地域の災害状況を確認できる防災情報収集カメラの新設
 - ⑫保健所に非常用自家発電装置の設置（健康危機管理拠点として機能を維持）
 - ⑬在宅人工呼吸器使用者用のポータブル蓄電池の配備
 - ⑭土のうステーションの設置 等

| | | | |
|-------|-----|----------|--------------|
| 問い合わせ | ①～⑪ | 危機・災害対策課 | 電話：5246-1091 |
| | ⑫ | 生活衛生課 | 電話：3847-9419 |
| | ⑬ | 保健予防課 | 電話：3847-9413 |
| | ⑭ | 道路管理課 | 電話：5246-1360 |

15 喫煙等マナー向上の推進／公衆喫煙所の整備

予算額 1億1,943万円

背景

改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の全面施行や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、路上における迷惑喫煙防止対策として、喫煙マナーの普及啓発活動や公衆喫煙所整備を推進している。

目的

喫煙者と非喫煙者の双方が共存できる環境を整備する。

事業概要

喫煙マナー指導員の臨時的な増員など、路上における吸い殻のポイ捨てや歩行喫煙等の喫煙マナー指導を強化する。

また、公衆喫煙所の新規整備や、既存公衆喫煙所のコンテナ型等への改良整備を行う。

● 新規整備

- 隅田公園公衆喫煙所（花川戸一丁目1番）
- 金竜公園公衆喫煙所（西浅草三丁目25番）

● 改良整備

- 清川清掃車庫公衆喫煙所（清川二丁目24番）
- 池之端二丁目公衆トイレ横公衆喫煙所（池之端二丁目4番）

問い合わせ 環境課 電話：5246-1280

16 浅草公会堂大規模改修

| | |
|-----------|-------------------|
| 予算額 | 10億2,501万円 |
| 債務負担行為限度額 | 25億4,285万円（令和3年度） |

目的

昭和52年開設の浅草公会堂は築42年を迎え、設備等の老朽化が進んでいることから、利用者への安全性・利便性・快適性の向上を図る。

事業概要

ホール天井の耐震化の安全対策等が課題となっているため、大規模改修工事を実施する。

●主な改修内容

- ホール天井の耐震補強
- エレベーター更新
- 舞台機構設備吊物装置更新
- トイレ洋式化・増設
- 電気・空調設備等工事

●施設概要（現況）

- 所在地 浅草一丁目38番6号
- 建物 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上5階・塔屋2階
- 延床面積 12,185.69㎡
- 収容人数 1,082席（ホール）

スケジュール

| | | |
|------|--------|---------|
| 令和3年 | 2月～11月 | 大規模改修工事 |
| 令和3年 | 12月 | 再開館準備 |
| 令和4年 | 1月 | 再開館 |

問い合わせ 区民課 電話：5246-1121

17 海外プロモーション推進

予算額 1, 4 4 6 万円

目的

区内産業のPRによりインバウンドの促進を図るとともに、区内中小企業の海外販路開拓の機会を創出する。

事業概要・**スケジュール**

タイ（バンコク）で行われる国際展示会に台東区ブースを出展する。ブースでは、地場産業製品・伝統工芸品に関する販売・体験情報の紹介により区内産業のPR及びインバウンドの促進を図るとともに、海外展開を支援する機関と連携して、区内中小企業と現地バイヤーとの商談を支援し、海外販路開拓につなげる。

また、令和2年度は新たに、タイの現地バイヤー等を台東区に招致し、区内事業者との商談や意見交換の場を設け、海外展開を目指す企業を支援する。

●出展展示会

- 展示会名 FOOD & HOTEL THAILAND 2020
- 会 期 令和2年9月9日（水）～12日（土）
- 会 場 タイ（BITEC（バンコク国際貿易展示場））
- 来場者数 約70カ国、31,769人（令和元年実績）

●タイの現地バイヤー等の招致【充実】

- 招致事業者 現地法人バイヤー、経営コンサルタント業者等
- 招致時期 令和2年9月下旬

問い合わせ 産業振興課 電話：5246-1196

●18 (仮称)江戸たいとうショップ

予算額 2,613万円

背景

台東区は、江戸時代から上野・浅草という2大商業地を持ち、その周辺でものづくりが盛んに行われていた。

現在も、靴やかばん、ハンドバッグ、ベルト等の皮革産業や伝統工芸、玩具、人形、ジュエリー、アクセサリなどが集積する「ものづくりのまち」として発展し、その魅力を区内外に発信している。

令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、来街者の増加が予想される。

目的

江戸から続く「ものづくりのまち 台東区」の地域産業の魅力を来街者に発信するとともに、区内産業のPR及び販売促進を図る。

事業概要

本区を訪れる外国人観光客を主なターゲットとして、皮革関連製品をはじめとするファッション雑貨等を販売・情報発信する「(仮称)江戸たいとうショップ」を花川戸一丁目施設に開設する。

● (仮称)江戸たいとうショップ

■開設場所 花川戸一丁目施設 1・2階
(花川戸一丁目14番16号)

■開設期間 令和2年6月1日(月)～11月30日(月)の各週4日間

■内 容 区内に事業所を有する中小企業及び団体等の商品販売・展示、ものづくり体験のイベント実施 等

問い合わせ 産業振興課 電話：5246-1196

●19 江戸をたずねる

予算額 83万円

背景

台東区には、江戸の昔から続く伝統行事や神社仏閣、名所旧跡が数々あり、まちや暮らしの中に、江戸の文化が息づいている。

本区では、江戸時代の優れた面を改めて認識し、まさに色濃く残っている魅力ある江戸文化や地域資源を発信する「江戸ルネサンス事業」を平成30年度から実施している。

目的

本区に残る江戸文化の魅力を国内外に発信することにより、区民の誇りや郷土を愛する心を育むとともに、江戸と台東区との繋がりへの理解を深める。

事業概要・**スケジュール**

江戸ルネサンス事業の最終年となる令和2年度は、「クリエイト！江戸 活かす」をテーマに、地域に根付く江戸に関連するイベントや文化財に焦点を当て、区内の文化資源を活かしたトークセッションやガイドツアーを実施する。

●トークセッション

■実施時期 令和2年4月上旬

■内 容 「浅草観音うら一葉桜まつり」での、奥浅草の歴史や文化をテーマとしたトークセッション

●ガイドツアー

■実施時期 令和2年6月下旬～8月上旬

■内 容

- ・待乳山聖天をはじめとした奥浅草の江戸ゆかりの地をめぐるガイドツアー及び伝統工芸体験
- ・上野東照宮ガイドツアー及び伝統芸能実演

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1145

20 墨田区との連携推進

予算額 208万円

背景

台東区と墨田区は、観光振興事業及びPR活動の効果的な実施のため、観光分野における連携に関する協定を、平成29年10月に締結した。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催前には、「北十間川・隅田公園観光回遊路」及び「隅田川橋梁歩道橋」が整備され、隅田川の水辺空間の魅力向上が期待される。

目的

両区で広域的に観光施策を展開することにより、両区の地域活性化を目指し、誘客促進や回遊性の向上を図る。

事業概要

台東区の浅草二天門防災船着場と墨田区の北十間川の（仮称）小梅橋船着場に船を運航する「（仮称）渡し舟クルージングイベント」を両区が連携して実施し、隅田川エリアの更なる魅力の発信を図るとともに、舟運の活性化に向けた機運醸成を行う。

スケジュール

令和2年10月～11月頃

※墨田区の（仮称）小梅橋船着場のオープンにあわせて2日間の実施を予定

問い合わせ 観光課 電話：5246-1150

●21 (仮称) 2020台東区コレクション展

予算額 1,695万円

背景

台東区では、東京藝術大学との芸術・文化交流を促進するとともに、区の文化の創造と発信を行う目的で、昭和56年度より東京藝術大学の優秀な卒業作品（日本画、油画・版画）の制作者に「台東区長賞」を授与してきた。これらの作品は、区の貴重なコレクションとなっている。

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年にあわせ、区の貴重な文化的財産となっている作品群を公開することで、区民をはじめ多くの方が芸術に触れる機会を創出する。

事業概要・**スケジュール**

「台東区長賞」授与作品を一挙に鑑賞できる機会として、「(仮称)2020台東区コレクション展」を東京藝術大学の協力を得て、東京藝術大学大学美術館で開催する。

● (仮称) 2020台東区コレクション展

- 実施時期 令和2年9月中旬～10月中旬（予定）
- 開館時間 午前10時～午後5時（金曜日は午後8時まで）
- 会場 東京藝術大学大学美術館3階展示室
- 展示作品 台東区長賞全93点
- 入館料 無料

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1145

●22 聖火リレー

予算額 5,000万円

背景

台東区では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、聖火リレーの実施が予定されている。

目的

聖火リレーの実施にあたり、開催が間近に迫った大会を区民及び来街者に身近に感じてもらうとともに、祝祭ムードを盛り上げる。

事業概要

区内で実施される聖火リレーの運営を行う。

【オリンピック聖火リレー】

●出発式

- 日 程 令和2年7月21日（火）
- 会 場 台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場
- 内 容
 - ・ 式を盛り上げるイベント（ウェルカムプログラム）の開催
 - ・ 聖火の入場及び聖火を第一走者のトーチへ点火する出発セレモニーの実施

●聖火リレー

- 日 程 令和2年7月21日（火）
- コース 台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場～国立西洋美術館前
- 内 容 ボランティア等によるコース沿道警備の実施

【パラリンピック聖火リレー】

●聖火リレー

- 日 程 令和2年8月22日（土）
- コース 未定
- 内 容
 - ・ ボランティア等によるコース沿道警備の実施
 - ・ 区有施設で聖火の展示等を行う聖火ビジットの実施（8月21日（金））

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック担当 電話：5246-1051

●23 コミュニティライブサイト

予算額 5,000万円

背景

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、台東区にゆかりのある選手の活躍が期待されている。

目的

本区にゆかりのある選手の応援を通じて大会を盛り上げることにより、感動と興奮を共有できる機会を提供する。

事業概要

競技中継を通じて選手を応援できる、区主催のコミュニティライブサイトを実施する。

●日 時

■オリンピック期間

・令和2年7月26日（日）～8月2日（日） 8日間

■パラリンピック期間

・令和2年8月28日（金）～9月5日（土） 9日間

※全日とも午前10時～午後8時（予定）

●会 場 生涯学習センター 1階アトリウム

●観戦規模 約100席

●内 容

■大型スクリーンによる競技中継

■会場のシェイドレスシング（装飾）

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック担当 電話：5246-1051

24 東京オリンピック・パラリンピック大会推進

予算額 4,077万円

背景

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年となり、台東区でも開催に向けて盛り上がりを見せている。

目的

大会開催に向け、区民や来街者に対し、更なる機運醸成を図る。また、大会後のレガシーとしての取組みを実施する。

事業概要

●循環バスめぐりんへのラッピングの実施

区内を走行する循環バスめぐりんの車体にラッピングを行い、めぐりんの利用者や来街者に対し、機運醸成を図る。

■実施時期 令和2年6月上旬～9月上旬

■実施規模 循環バスめぐりん全22台

●レガシー銘板の設置

大会の記憶となるレガシーとしての銘板を区内2か所に設置する。

■設置時期

令和3年3月

■設置場所

・浅草雷門前

パラリンピックマラソンコースの15km地点となる場所

・台東リバーサイドスポーツセンター

オリンピック聖火リレーの区内走行ルート出発地点となるとともに、出発式(※)を実施する場所

※ オリンピック聖火リレーにて、各実施日最初の出発地点となる自治体が行う出発セレモニー(本区は7月21日(火)に実施)

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック担当 電話：5246-1051

●25 「生誕」像の設置

予算額 1,384万円

背景

昭和39年（1964年）7月15日、東京オリンピックを契機として、「生誕」像（名誉区民 彫刻家 朝倉文夫作）をシンボルとする生誕噴水塔が上野恩賜公園入口前（袴腰広場付近）に建設されたが、その後、上野中央通り地下駐車場整備に伴い撤去された。

目的

生誕噴水塔のシンボルであった「生誕」像を当時の設置場所の近くに設置することで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への更なる機運醸成を図るとともに、区民をはじめ多くの来街者が芸術作品に触れる機会を創出する。

事業概要・**スケジュール**

東京で再びオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを記念し、「生誕」像を当時の設置場所に近い下町風俗資料館脇（上野恩賜公園内）に設置し、除幕式典を開催する。

また、式典当日の午後は、「生誕」像の設置を記念し、下町風俗資料館の入館を無料とする。

●除幕式典

- 日 時 令和2年7月15日（水）午前10時
- 場 所 下町風俗資料館脇
- 内 容 関係者挨拶、除幕、下町風俗資料館見学等

●下町風俗資料館の無料入館

- 日 時 令和2年7月15日（水）午後（午前は式典のため休館）

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1195

26 アスリートから学ぶLet's Enjoyスポーツ

予算額 1,141万円

背景

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、区民のスポーツへの関心が高まっている。

目的

大会100日前イベントを実施することで、大会へ向けた機運醸成を図る。

事業概要

トップアスリートを招聘し、“ホンモノ”のスポーツの素晴らしさを感じてもらおう。また、オリンピック・パラリンピック競技種目の体験会を実施し、前回実施したイベント(平成31年3月実施)より内容を充実したイベントとする。

- 日 時 令和2年4月29日(祝)
- 会 場 台東リバーサイドスポーツセンター体育館・陸上競技場・野球場
- 体験種目数 16種目程度
- 内 容
 - トップアスリートによるデモンストレーション
 - トップアスリートによるトークショー
 - オリンピック・パラリンピック競技種目の体験会

問い合わせ スポーツ振興課 電話：5246-5830

27 おもてなしの人づくり

予算額 469万円

背景

台東区では、これまでもマナー啓発パンフレットの作成や外国人旅行者接遇研修会の実施等、観光客の受入環境整備を行ってきたが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や外国人観光客の増加を踏まえ、更なる充実が求められている。

目的

外国人観光客のマナーや生活習慣の違いによる区民とのトラブルの防止及び相互理解の促進を図るとともに、観光客が快適に観光できる環境を整備する。

事業概要

外国人観光客に対するマナー啓発の強化のため、区内の観光関係団体等と協力し、啓発ポスター掲示や包装紙へのポイ捨て禁止シール貼付等による、マナー啓発キャンペーンを実施する。

また、民間事業者等のトイレを観光客等が利用できるよう、一般開放の協力を依頼する。

●外国人観光客に対するマナー啓発キャンペーン

■ポスターの作成・掲示

- ・江戸時代の町人をモチーフに迷惑行為の防止を具体的に描写したポスターを作成し、区内の宿泊施設、商店街、飲食店等に掲示

■協力店舗における包装紙等へのポイ捨て禁止シールの貼付

■協力店舗での啓発品（ポケットティッシュ）の配布

●民間事業者等のトイレ一般開放

■区内コンビニエンスストア、谷中周辺の店舗等への協力依頼

- ・協力店舗等は、協力店シールやミニ立て看板の設置により周知

スケジュール

令和2年4月下旬から

問い合わせ 観光課 電話：5246-1150

28 浅草文化観光センター運営

予算額 1億8,433万円

背景

浅草文化観光センターは、台東区の文化・観光情報の発信拠点として4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）での観光案内や、デジタルサイネージによる分かりやすい情報発信を行うなど、世界中から訪れる観光客の利便性向上を図っている。

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に日本を訪れる多くの外国人の方に、文化体験を通じて日本文化への理解を深めていただくとともに、来館者の満足度向上を図ることで、本区への再訪者増加につなげる。

事業概要

「和」の雰囲気を感じられる空間として設営した会場で、外国人の来館者向けに、気軽に参加できる日本文化体験イベントを実施する。

●日本文化体験イベント

- 内容 茶道、華道、書道、折り紙、風呂敷（1日1種）
- 会場 浅草文化観光センター 7階展示スペース
- 対象者 外国人の来館者
- 参加費 無料

スケジュール

令和2年7月中旬～9月中旬

問い合わせ 観光課 電話：5246-1150

29 花の心プロジェクト

予算額 1億5,700万円

背景

台東区では、平成28年4月に「花の心 たいとう宣言」を行い、「花の心プロジェクト」を推進している。

目的

花を慈しむ心や思いやりとおもてなしの心をもって、花でまちを飾り、「花の心」の普及を図ることで、心豊かでうるおいのあるまち台東区を世界にアピールする。

事業概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあわせ、新たに浅草文化観光センター及び区内の鉄道駅等における花の装飾や、隅田公園リバーサイドギャラリーにおいて、江戸から現代へとつながる花に関する文化をイメージした展示を行うなど、花によるおもてなしを行う。

引き続き、「花の心プロジェクト」推進に向け、区有施設における花壇設置や、「花の心フラワーサポーター」への支援等を行う。

●主な取組み

■普及啓発

- ・花の心プロジェクト推進協議会の運営
- ・花の心ハンギングバスケットの実施（雷門周辺）
- ・花とみどりの講習会の実施（ハンギングバスケットの作成等）
- ・東京2020大会に合わせた花による装飾の実施【充実】

浅草文化観光センター、区内8駅、隅田公園リバーサイドギャラリー

■花の心フラワーサポーターへの支援

■区有施設の花壇の充実・維持管理

- ・庁舎、区民館、生涯学習センター、区立全小中学校 等

■公園等の花壇の維持管理

- ・駒形橋ポケットパーク、防災広場初音の森 等

■区道の花壇の維持管理

- ・左衛門橋通り、並木通り「おもてなしの庭」 等

問い合わせ 環境課 電話：5246-1280

30 障害者スポーツ普及促進

予算額 782万円

背景

東京2020パラリンピック競技大会の開催を控え、区民の障害者スポーツへの関心が高まっている。

目的

区民の障害者スポーツへの関心を高め、共生社会の実現を目指すとともに、パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図る。

事業概要

パラリンピック競技大会の正式種目である「ボッチャ」の交流大会を開催する。

●台東区ボッチャ交流大会

- 日 程 令和2年8月23日（日）
- 会 場 台東リバーサイドスポーツセンター体育館
- 対象者 区内在住・在学の小学生

問い合わせ スポーツ振興課 電話：5246-5830

●31 障害者アーツ

予算額 421万円

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、障害の有無にかかわらず、だれもが文化・芸術活動を楽しめるよう、障害者の文化・芸術活動への参画を支援するとともに、障害への理解促進を図る。

事業概要・**スケジュール**

障害の有無にかかわらず、だれもが文化・芸術に触れることのできる機会を充実するため、美術及び音楽分野のイベントを実施する。

●美術分野イベント

- 実施日 令和2年6月27日（土）
- 会場 生涯学習センター 会議室及びミレニアムホール
- 対象 周囲とのコミュニケーションが苦手な小学3年生程度までの児童（発達障害児等）
- 定員 25名程度
- 内容 ペーパークラフトづくりや音楽と映像によるコンサート等、五感で楽しむワークショップを実施
- 参加費 無料（事前申込制）

●音楽分野イベント

- 実施日 令和3年1月30日（土）
- 会場 生涯学習センター ミレニアムホール
- 対象 どなたでも
- 定員 300名程度
- 内容 磁気ループや音響体感装置を配備し、管弦楽の演奏や朗読とパントマイムを合わせた音楽劇を実施
- 参加費 無料（事前申込制）

問い合わせ 文化振興課 電話：5246-1145